

平成23年度年間授業計画(第5学年算数)

月	学習内容(単元)	年間学習目標
4	・整数と小数	<p>【算数への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の学習に興味や関心を持ち、意欲的に取り組み、生活に生かそうとする。 <p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題に対して見通しをもち、既習の学習を生かしながら、具体的な活動を通して、関係を見つげたり順序立てて考えたりすることができる。 <p>【数量や図形についての表現・処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小数や分数の計算が確実にでき、それらを用いたりするとともに、図形の面積を求めたり、図形の性質を調べたり、数量の関係などを表したり調べたりすることができる。 <p>【数量や図形についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の計算の意味、面積の求め方、基本的な図形の意味や性質及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。
5	・直方体や立方体の体積 ・小数のかけ算	
6	・小数のわり算	
7	・合同な図形 ・偶数と奇数、倍数と約数	
9	・単位量あたりの大きさ	
10	・分数と小数	
11	・図形の角 ・分数のたし算とひき算	
12	・四角形と三角形の面積 ・百分率とグラフ	
1	・多角形と円周の長さ	
2	・分数のかけ算とわり算 ・角柱と円柱	
3	・5年のふくしゅう	
年間授業時数		175
授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わかる」「できる・使える」「考える」という算数の楽しさに気づかせるために、授業の工夫を次のように行う。 ○ 少人数指導の良さを生かし、一人一人の児童の活躍の場や練習問題の量を増やし理解を深めるようにする。そして、児童の関心・意欲や理解度等、個人差に応じる指導を行う。 ○ 学習したことが児童に確実に定着し、生活の中で使える算数となるよう繰り返し学習を重視する。そのために、計算ドリルを使った反復学習を自主的・計画的に進めるような指導を行う。 ○ 児童の身近な問題を課題に取り入れることで、主体的に課題解決できるように指導する。また、友達の考えから多様な解決方法を学び、多角的に物事を見る力と学習態度を養う。 	
評価について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元毎のテストだけでなく、平素のプリントやノート、計算ドリルを使った自主学習への取り組み、授業中の発言などの意欲・態度などで総合的に評価する。 	
学習方法(家庭学習)など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算力の習熟と学習内容の定着を図るため、算数に関する家庭学習はほぼ毎日実施する。 	